

「井口特設グラウンド土地利用に関する説明会」（令和5年8月開催分）  
 でのご意見及び回答について

※グラウンド整備に向けた取組み及び病院の誘致に関する主要なご意見等について記載しています。

No	質問・意見の骨子	回答の骨子
<b>(1) 全般的な内容に関することについて</b>		
1	井口で生まれ育ったが、井口グラウンドは一部の人しか使えないと思っていた。今後多目的に使えるようになるのならば良いことではある。今は賛成とも反対とも言えない。	
2	グラウンド利用者の歩道上のマナーに配慮してほしい。	利用者の自転車マナーや交通安全上の問題については今後もしっかり周知していきます。
3	医療施設よりもグラウンド側を先に整備する場合、予算はあるのか。	グラウンドを整備する予算は、今後計画や設計を進め、必要になる金額を明確にし、予算を計上していきます。
4	以前は、自分の子どもがグラウンドを使っていたが、子どもが使わなくなると、自分も使わないし、グラウンドに対する見方が変わってくる。私たちが安全に使える公園が整備され、東西通路もできれば便利になる。空いている時間に保育園や学校の子もたちに開放することも検討してほしい。多目的な視点で整備を進めてほしい。	
5	基本方針に賛成している。グラウンドを整備し、地域の避難場所にするのは非常に意義があると思う。	
6	大規模な災害があったときのために、グラウンドは一時避難場所として更地のままにしておいてほしい。	
7	近隣だと災害時は狭い井口小が医療拠点として案内されているため、変えてほしいとお願いしていた。グラウンドを残しつつ、医療拠点を整備する折衷案は妥当だと思う。	
8	なぜ病院を誘致するのか。グラウンドと病院が1/2ずつのスペースなのか。	防災・減災の視点から、病院が地域医療の拠点となるからです。また、避難場所を確保し、病院と連携するという考え方から概ね半分の規模としました。
9	医療施設とグラウンドの整備は同時に行うのか。グラウンドの土埃が何十年来あるため、グラウンドだけでも早く整備してほしい。	整備等の手順はこれから決定していく予定ですが、土埃の問題もあるため、医療施設とグラウンドの整備を同時に行う必要はないと考えています。段階的に整備に入ればと考えています。
10	30年間も無償で貸し出されていたグラウンドはもはや市民のものである。グラウンドを残してほしいという市民の意見は聞かないのか。	反対する市民も賛成する市民もいますが、本事業については、多くの皆様に賛同いただけていると考えています。引き続きご意見は丁寧に聞きながら進めていきます。
<b>(2) グラウンドについて</b>		
1	車道側にボールが飛び出さないようにしてほしい。	
2	グラウンドが半分になると運動できる場所が限られる。他のところもバランスよく、無料で運動ができる他の公共施設やスペースを先に整備してほしい。	無料の施設が様々使えることが好ましいですが、今回の土地利用においては、現在の土埃が舞う暫定的なグラウンドではなく、恒久的なグラウンドとして整備し、利用者が安全で使いやすい施設にしたいと考えています。
3	グラウンドの面積が半分になるが、代わりに他の施設を使うことはできるのか。	現在、大沢野川グラウンドは小学生の軟式野球には使えませんが、大沢野川グラウンドの利用を検討していきます。また、グラウンドの工事期間においては、他に東京都や民間の施設の利用などについても検討していきたいと思えます。
4	グラウンドが2面から1面になるのはチームとしては反対である。ホームグラウンドの第三小学校は天然芝の養生期間は使えない。2面あるグラウンドが1面になると予約が取りづらくなることを危惧している。	グラウンドは小さくなりますが、防災・減災の視点で活用することも大事なことでありと考えています。恒久的な施設としてグラウンドの整備が整い、利用環境自体は良くなると考えています。利用枠の減少については、様々な視点から検討していきます。
5	同時に2面なくなるのはチームにとってつらい。工事等で工夫してもらえないか。	グラウンド整備後に医療施設の整備を行うなど、同時にグラウンド全部が使えなくなることがないように検討していきたいと考えています。
6	大沢野川グラウンドが使えるようになるという話もあるが。	井口グラウンドの整備期間中に暫定的に利用できるよう検討します。
7	井口グラウンドの整備後は、大沢野川グラウンドは使えなくなるのか。代替グラウンドではないということか。そういった説明は受けていないが。	今後、大沢野川グラウンドの利用について検討及び調整をしていきます。
8	グラウンドが人工芝になると、野球の線はどのように引くのか。	今後の設計で検討し、お知らせしていきます。
9	(井口グラウンドの代替グラウンドとしての) 大沢野川グラウンドは水が入って一月も使えなかった時期もある。	大沢野川グラウンドは、野川の調節池の中に整備したものであり、雨が降った場合にはグラウンドの特性上使用できなくなります。制限が生じますが、ご理解いただきたいと思えます。
10	井口グラウンドが2面から1面になったら今までの半分の利用者は有料の施設を使うことになる。補助は出るのか。	原則は、スポーツ施設は受益者負担であるべきだと考えています。現時点では、補助金前提のお話は控えさせていただきます。
<b>(3) 東西通路について</b>		
1	近隣の小中学生は通行が危険な連雀通りを通過して通学している。東西通路ができれば安全が確保できる。	
2	東西通路の西側出入口付近は暗いので、街灯を設置してほしい。	防災・防犯の観点から、適切な照明灯の設置を考えています。
3	東西通路に一般車両が入れないような工夫をしてほしい。	東西通路は原則として、歩行者・自転車通行専用として考えています。一般車両が入れない構造にし、管理用車両が入る場合には、常駐の管理人が適切な対応を行うようにします。
4	東西通路の工事中に井口グラウンド西側の住民の出入りができなくなるのが心配。	工事車両は調布保谷線側から出入りすることを基本と考えています。
5	東西通路とグラウンド北側を囲む通路は24時間開放することを考えているのか。	東西通路は安全対策をして24時間開放することを考えています。グラウンド北側を囲む通路は、園内通路としてグラウンドの閉鎖時間中は閉鎖することを考えています。
6	人や自転車による騒音などで居住環境への影響が懸念される。	

(4) 病院の誘致について		
1	「施設や設備面等で課題のある病院」とはどこを指すのか。	新型コロナウイルスが蔓延し始めたとき、市内の多くの病院が感染者と非感染者の動線確保等の対応に苦劳しました。機能面を整備するためにも、建替えを望んでいる病院があると考えています。
2	医療事業者誘致の公募に応募してくる病院のあたりはついているのか。なぜ外部の有識者を中心に選定委員会を設置するのか。市民の意見は反映されないのか。	想定はありませんが、市内病院は施設や設備面等で共通の課題を抱えていると認識しています。公正さを保つため、市の内部だけではなく、専門家の意見を取り入れて議論し決定していきたいと考えています。
3	新型コロナウイルスを理由に病院誘致を計画したのですか。	当初、井口特設グラウンドを防災・減災のまちづくりの視点から一部存続することを検討し、その後、新型コロナウイルスが蔓延し、グラウンドへの医療事業者誘致の土地活用の検討に入ったものです。
4	感染症病院ができることと恐怖感を持ってしまう。また、建物による環境の変化を心配している。地域の生活環境が変わらないような病院の設計にしてもらいたい。	感染症病院を誘致するというものではありません。災害時などにも機能できるような工夫をしてもらうことができる病院を考えています。病院の設計は医療事業者が行いますが、緑地による緩衝帯の設置など、公募の際には周辺の環境に配慮する条件を付けていきたいと考えています。
5	新型コロナウイルスワクチンの後遺症専門病院の誘致は考えていないのか。	新型コロナウイルス専門の病院は考えていません。地域の方々が日常的に医療を受けられる施設にしたいと考えています。また、グラウンドを一時避難場所とした防災拠点とし、病院と連携していくことを検討しています。
6	南側敷地は5,500㎡を最大値として予定しているのか。	現在、5,500㎡を最大値として公募することを考えています。
7	井口の小金井に近いところに住んでいる。井口四丁目は病院が少ない。日赤病院は紹介状がないと受け入れてくれないし、杏林大学病院は遠い。この地域に病院がくることはありがたい。	
8	病院は長期計画を立てて進めていると思うが、建替えや改修等を望んでいる病院の情報を市はつかんでいるのか。	事業者の方は、計画性をもって進めるものと認識しています。医療施設の誘致について構想等の取組の中でアナウンスしてきました。建替えを望む病院に応募を検討してもらっている段階と考えています。
9	定期借地として貸し出す金額はいくらか。予算の概算を答えられない理由は。	市としては鑑定をとるなど、適正な価格となるように精査していきます。概ねの想定は検討していきますが、公募の中でいくつかの医療事業者が提出する額によりますので、現時点で市が設定できるものではありません。そのため、予算の概算はお示しできません。
10	医療施設の病床数は決まっているのか。	病床数は、医療事業者の計画によります。すごく大きな病院でも個人医院等の小規模なクリニック等のレベルを想定しているものでもありません。
(5) その他		
1	防災コミュニティ広場とはどのようなものか。防災機能を持たせた施設ができるのか。	計画では、緊急輸送道路、一時避難場所、防災・コミュニティ広場、避難所となるコミュニティ・センターと連続する位置になります。平常時は、地域の交流スペースとして使用するとともに、防災倉庫やかまどベンチなどの防災設備を設置することで災害時に備えた施設とすることを考えています。
2	これからもパブリックコメントや、話し合いの場を続けていただければと思う。	